

元気いっぱい歌って、踊って
らくれんおたのしみコンサート

「らくれんおたのしみコンサート」は、5月15、16の両日、小富士保育所と松前ひまわり保育所でそれぞれ行われました。これは、四国乳業(株)(島原吉之代表取締役社長)が子どもたちに文化芸術に触れてもらう機会をつくらうと令和4年から実施しているもの。

園児は、歌のお姉さん「ぼんぴんず」と一緒に元気いっぱい歌ったり、踊ったりして楽しい時間を過ごしました。

㊦ 大きな声で「はーい!」(ひまわり) ㊦ 一緒にダンス(小富士)



防災について学ぶ
令和6年度統括広報委員視察研修

各地区の区長で構成する統括広報委員会は5月16、17の両日、兵庫県神戸市の「人と防災未来センター」や大阪府大阪市の「大阪市立阿倍野防災センターあべのタスカル」で研修を行いました。

阪神・淡路大震災の被災者の体験談を聞いたり、災害による火災発生時の対応方法を学んだりと防災を身近に感じた参加者。学んだことを地域での活動に生かそうと意識を高めていました。

㊦ 阪神・淡路大震災を写真で振り返る ㊦ 消火体験を行う参加者



憧れのサッカー選手からプレゼント
愛媛FC 前野選手が母校訪問

愛媛FCの前野貴徳選手は4月22日、町内全ての小学校を訪問し、今年入学した新1年生にオリジナルの下敷きと定規をプレゼントしました。

これは、松前町で育った前野選手が勉強を始める子どもたちを応援しようと、6年前から実施しているもの。文房具を受け取った母校の岡田小学校の児童は、「ありがとうございます」と元気に感謝の言葉を伝えていました。

迫力あるマグロの解体ショー
松前港祭り

松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前港祭り」は5月3日、瀧姫神社周辺で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

会場では、漁船パレード、宝探しや魚のつかみどりなど大人も子どもも楽しめるイベントがたくさん。恒例のマグロの解体ショーでは、解体されたマグロがすぐに完売するほど大盛況となりました。



元県警部 73歳 昌農内
村上 貞明さん
* 瑞宝双光章【警察功労】
むらかみ・さだあき

昭和44年に愛媛県警に採用されて以降、県内各地で勤務。長年勤めた捜査2課では、組織犯罪に対する現場での捜査はもちろん、捜査資料を読み解いて事件を解決に導くなど、住民の安全確保に尽力しました。

受章に対し、「今回の受章は家族や同僚のおかげです」と話していました。



元県警部補 73歳 徳丸
横田 博詩さん
* 瑞宝単光章【警察功労】
よこた・ひろし

昭和50年に愛媛県警に採用されて以降、県内各地で勤務。刑事を経て、長年勤めた地域課では町内の駐在所にも配属され、住民とのコミュニケーションを大切に、顔と顔の見える関係をつくり、地域の安全のために尽力しました。

受章に対し、「大変光栄なこと。皆さんの支えのおかげです」と話していました。

叙勲で本町から4人が受章
危険業務従事者叙勲

政府が4月6日付で発表した「第42回危険業務従事者叙勲」で本町から亀田猛さん、村上貞明さん、廣藤邦夫さん、横田博詩さんが受章しました。

受章者の主な経歴とコメントは次の通りです。



元伊予消防等事務組合消防司令長 69歳 鶴吉
亀田 猛さん
* 瑞宝双光章【消防功労】
かめだ・たけし

昭和48年、伊予消防組合双海出張所に配属され、42年間地域の消防活動に尽力。平成24年には伊予消防等事務組合消防司令長に就任し、地域住民の生命と財産を守るため、迅速で的確な指揮を執ってきました。

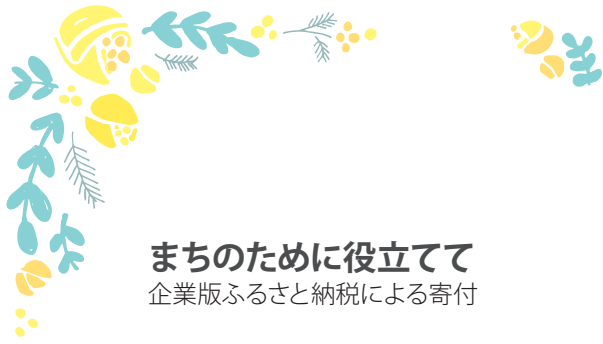
受章に対し、「身に余る光栄です。支えてくれた家族に感謝しています」と話していました。



元県警部補 73歳 筒井
廣藤 邦夫さん
* 瑞宝単光章【警察功労】
ひろふじ・くにお

昭和45年に愛媛県警に採用されて以降、東予や中予地域の警察署で勤務。長年勤めた地域課では、何事も一生懸命をモットーに、現場の最前線で昼夜問わず体を張って、地域の安心・安全を守るために尽力しました。

受章に対し、「今まで支えてくれた妻や子どもに感謝しています」と話していました。



まちのために役立てて

企業版ふるさと納税による寄付

スカウト型転職サイト「タレントスクエア」を運営するタレントスクエア(株)(本社:東京都)は、3月28日、町行政に役立ててほしいと、企業版ふるさと納税による寄付金を町に贈呈しました。

いただいたご厚意は、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。




レンゲ畑で笑顔も満開

恵久美地区レンゲ畑

恵久美環境保全会(郷田雄三代表)は4月26日、同地区内のレンゲ畑に、白鶴保育所の園児とデイサービスさくらの利用者を招待しました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、子どもたちは元気いっぱい。おばあちゃんにレンゲを摘んであげたり、一緒に歌を歌ったり。

満開のレンゲの中で、地域の人と一緒に自然との触れ合いを楽しみました。

- ㊤一緒に歌えるかな?「はい」
- ㊦元気いっぱい鬼ごっこ




子どもたちを空へご招待

MASA 気球

松前町商工会青年部は5月18日、松前公園でMASA気球に乗船できるイベントを開催しました。

このイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな制限を受けてきた子どもたちが楽しめるイベントをしたいという商工会青年部の強い思いで実現したものです。初めて気球に乗った松前小学校1年生の長谷川結人くんは、「高くて怖かったけど、また乗ってみたいな」とにっこり。

当日は他にも、ダンスパフォーマンス、スポーツチャンバラ体験、古着の購入や交換ができる「フルギノフェスタ」なども開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

商工会青年部の田中洋平部長は、「たくさん子どもたちが参加してくれてうれしい。今後も子どもたちが楽しめるイベントを開催したい」と意気込んでいました。



- ㊤古着交換ブース
- ㊦キレのあるダンスパフォーマンス
- ㊧松前の空を飛んだMASA気球

